



嫁と姑のお互いのすれ違い

5年程前から長男夫婦と同居していますが、嫁との関係がうまくいっていません。孫が二人いるのですが、小学一年の孫が不登校となっていました。今は何とか嫁が送り迎えをして一日おきに行くようになりました。嫁とはほとんど顔を合わすことはありません。私の声を聞いただけで身体が震えると言っています。孫にも声をかけづらくなり、私も精神的にまわってしまいい療内科にかかっています。嫁も自分がおかしくなっているのではないかと長男に話をしているようです。

長男も忙しく、連日仕事に追われていますが、それでも悩んでいるようで、問題を整理して私に話をしてきました。私には、嫁が苦しんでいる理由を分かってもらいたいと言っています。この歳で家を出ることもできません。

相談者の方は、お菓子を作ったり、勉強を教えるやったりと色々孫のためにと面倒を見てきたようでした。ただ、それが自己満足で一方通行だったように思えます。それが嫁としては余計なことかと思えたように感じます。相談者の孫を思う気持ちが一生懸命なのはわかるのですが、あまり孫たちには関わらず、孫から離れ自分の好きなことをやるのが一番いいのではないのでしょうかとお話をしました。家庭内でも意思疎通がないと、お互いにすれ違いの問題が大きくなることを感じます。相談者には、一方の考えだけ聞いても判断ができませんので、キーマンとなる長男ともお話ができればいいですねと伝えました。

帰られる前に、最近少し孫のことはどうでもいいやと考えるようになり、気持ちが少し楽になっています。ここで話してきたこともよかったと言っていたので、その方向でうまくいってほしいと思います。

障害年金って誰に聞けば？

メール相談でしたが以下の内容です。今まで癌で職場を休んでいました。傷病手当金が1年半で終了するので、それを機に職場をやめようと考えています。それでも軽い仕事ぐらいはできるのではないかと再就職も考えています。

癌であっても障害年金を受給できると聞いています。また雇用保険の受給も申請したいと思うのですが、どこに相談に行けばいいでしょうか？手続きはどのような段取りでやればいいのか？また市役所から受けられる補償もありましたら聞かせてくださいという内容でした。

LSOには専門の知識を持っている人はいないので、こちらで提携している社労士さんに相談してメール返信しました。手続きとしては年金事務所に行つて書類をもらって提出すれば良いということでした。受給にあたっては色々条件があり、自分で手続きをするのが面倒だという人は、社労士でも年金の手続きを請け負うということですが、料金はそれぞれ社労士によっても違いますし、成功報酬1割というよう方もいるとのことでした。担当医から診断書を書いてもらうにあたっては注意が必要とのことでした。

雇用保険は、身体の調子でまだすぐに働けないということであれば、3年の受給延期もできるとのことです。自治体では税金や乗り物などへの保証があるので、福祉課などの窓口で相談していただければということでした。



外国人の相談も来ますが・・・



配送の請負の仕事をしているのですが、配送の元請けの会社から、あなたのお客様対応が悪いということで契約を解除するとメールで通知されました。しかし、そのような覚えはないし、送信先の元請けには返信はできませんと書いてありました。どうしたらいいでしょうかという相談でした。

相談者は中国人の方なので話ができるのか心配でしたが、それなりに日本語を話すことが出来る方でした。話してくれた内容は、彼は品物を運ぶことを委託されたフリーランスで、配達の数でお金を得ている仕事だということでした。本人が言うには、お客様対応が悪いということはないと言っていました。が、やや問題ありという感じがしました。彼は、これまで配達した分のお金を払ってくれるのかを心配していました。

元請けにメール返信はできないにしても、委託契約書はどう書かれていますかと尋ねたのですが、契約書を紛失したとのこと。契約先にも連絡が取れないという結果となりました。労基署にも電話で相談にのってもらおうと思ったのですが、契約先がわかれば相談にのりますということでもどうにもならずじわりしました。

外国人の方は、働くにしても労働条件がよくわからず、相手にいいように契約させられている可能性もあります。相談の体制としては難しいとは思いますが、外国人のための相談体制も必要な時代になっていくのだと思います。

相談者が相談員を元気にする

連合中越では、NPO法人「UNE」という組織と一緒に、信濃川河川敷で農作物を作ったりしてイベントをしています。ライフサポートセンターでは、時々心の問題などで悩んでいる相談者を、気分転換などもかねてイベントに誘ったりします。

1年程前に、職場や家庭のことで悩んでいた方で、ボランティアをやってみたいということで、「UNE」がやっている山の棚田の水路掃除や畑作業に誘ってみました。彼はそれが気に入ったのか、その後勤め先を辞め、UNEの職員募集に応募し採用されることになりました。その後も一緒に畑作業をやったりしましたが、元気に頑張っていました。

相談事業で時々感謝されることもあるのですが、感謝以上に相談者の方が元気を出してくれて、また頑張ってくれるのが私たち相談員のやりがいであり、頑張り続けられるエネルギーになります。

ただ現実にはその逆もあります。どうしていいのかわからない相談もあります。悩みながらも相談員で助け合いながら乗り越えていくことが大切なことだと思います。



信濃川河川敷での畑作業

